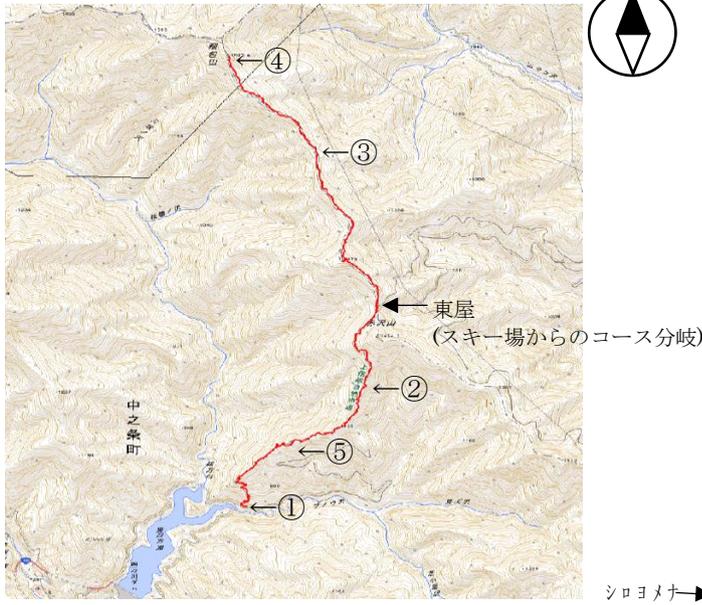


10月度 例会 個人 山行報告書		報告者	津田廣一	参加 メンバー	CL; 藤田 勝啓 津田 廣一
		報告日	10/30		
山城	上越の山	山行日	19年10月20日(日)		
山名	稲包山(イナツミヤマ)		日帰り		
山行目的	秋山(紅葉)を楽しむ		コースタイム (天候: 天気図記号)		

配布先
総会参加数
山行: 1
リーダー
原紙:
会事務局

ルート図 (地図を見て正確に)



1/2.5 万地形図:

シロメナ
かな?

10/20 曇り
9:00 国民宿舎四万
ゆずりは荘発
9:15 登山口着
9:25 登山口①発
10:45 1332m②
(1本 10分)
11:55 眺望よし地点③
(1本 5分)
12:45 稲包山頂上④
13:25 眺望よし地点③
(1本 10分)
14:40 緑の回廊看板⑤
(1本 5分)
15:20 登山口①着



〈山行報告〉四万温泉で朝風呂に入り、8時から朝食を頂く。随分と贅沢な山行だ。9時に宿を立ち、登山口へ15分程で到着。さっさと登山靴へ履き替え出発。ゆっくり登るも、いきなりの急登に汗が噴き出してくる。傾斜が緩くなってくると、快調になって距離が稼げるようになってきた。しばらく歩くと、稲包山周辺619haが「緑の回廊」に指定との看板が立っていた。更に歩行を続け、赤沢山手前の1332m地点で1本を取る。残念ながら、紅葉は今一。やや単調なアップダウンを進む。今まで登山者に会わなかったのに、急に多くの登山者とすれ違う。や赤沢峠の東屋(赤沢スキー場コースの分岐)へ到着。更に続々と登って来る。訊くと、群馬県の登山大会との事。“有名な山なんだ”と、感心。多くの人が休憩中の為、そのままスルーして先へ進む。稲包山が見える地点で1本。更に進み、登りが急になる。頂上直下の最後の急登と登っていくと、同年代の1人の男性が立っていた。60歳を過ぎてから山を始めて“はまった”との事。「数年前に登ったこの山の紅葉が最高だったので登りにきたが、今年は駄目だね!」との事。しばし、話をして一緒に頂上へ立つや、強風で寒い。写真を撮ってもらって、早々に退散。お別れして下山へ。下山途中で、登山大会ツアーの団体さんとすれ違う。軽く挨拶を交わして、下山を急ぐ。難なく、登山口へ。四万湖の周囲をドライブし、コバルトブルーの湖に映える紅葉の景色を写真に収めて、昨日、急遽予約した宿に急いだ。



稲包山頂上付近 地点③付近 四万湖の紅葉

〈リーダー所見〉
稲包山はNHKラジオ番組 山カフェの「紅葉の山特集」で紹介され、紅、黄、緑と多くの色、植物が混在する姿が売りの山である。
しかし今年の時季は冷え込みが遅く、まだ少し早かったようである。
天気と時季が良ければ山頂から紅葉のグラデーションと四万湖ダムが展望出来たのに・・・。



確認
(リーダー)
藤
19/11/23
田
作成
(報告者)
津
19/11/22
田